



Siiibo証券株式会社の株式の取得及び株式会社
会社メタプラネット証券への商号変更に関する
ご参考資料

METAPLANET

メタプラネット証券 始動へ

第一種金融商品取引業の登録を有する
Siiibo証券の全株式の取得により
日本に「利回り」を届けます

2026年6月12日



免責事項

本プレゼンテーションには、株式会社メタブラネット(以下「当社」)による Siiibo 証券株式会社(以下「対象会社」)の株式取得および完全子会社化(以下「本件取引」)に関する予定、戦略および将来の事業展開に関する記述が含まれています。これらは、本資料公表時点で入手可能な情報、前提および当社が合理的であると判断する期待に基づく見込みであり、将来の実績を保証するものではありません。

1. 本件取引の手続について

本件取引のスケジュールおよび完全子会社化手続等は現時点での予定であり、関係当局の承認状況、手続の進捗、その他クローリング前提条件の充足状況等により、変更、延期または中止される可能性があります。なお、本件取引が当社の 2026年12月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 今後の事業・商品構想について

本資料内で言及している「BTC関連商品・サービス」「セキュリティ・トークン(ST)」「デジタル・クレジット(優先株式)」等の商品・サービスの設計、およびこれらに関連して検討中の登録業・事業領域に関する中長期的な事業構想は、当社の現時点における計画・検討事項を説明するものであり、将来の実現や特定の権利内容等を確約または保証するものではありません。規制環境(金融商品取引法、資金決済法、暗号資産関連の規制・税制等)の変化、システム統合、人材確保その他の要因により、計画の内容・時期は変更され、または実現しない可能性があります。

本資料において言及する今後のM&A戦略は、当社の現時点における方針および構想を示すものであり、特定の取引の実行、実現時期、条件または成果を保証するものではありません。対象候補先の発掘、交渉、デュー・デューデリジェンス、資金調達、関係当局の承認その他の要因により、M&A等が実行されない可能性、または期待されるシナジー効果、収益貢献もしくは企業価値向上効果が実現しない可能性があります。

3. 第三者情報について

本資料に含まれる一部の情報は、信頼できると考えられる第三者情報源から取得していますが、当社はその正確性または完全性を保証するものではありません。対象会社に関する記述には、対象会社から提供を受けた情報および公知情報に基づくものが含まれます。市場規模の推計、競争環境に関するデータ、業界統計および当社株主基盤に関する数値は変更される可能性があります。

4. 投資勧誘の否定

本プレゼンテーションは、いかなる法域においても、有価証券の売却の申し出、購入の勧誘または投資助言を構成するものではありません。投資家の皆様には、本資料に含まれる情報に基づいて投資判断を行う前に、慎重に検討し、自己責任でデューデリジェンスを行うことを強くお勧めします。

5. 完全子会社化後の対象会社について

対象会社の完全子会社化後速やかに、当社より取締役を派遣する予定です。一方で、対象会社の現取締役陣は引き続きその職務を継続し、代表権についても変更しない方針です。また、既存のお客さまへのサービス提供につきましても、従来どおり継続してまいります。なお、対象会社の商号変更は、対象会社の株主総会における定款変更の承認可決を条件として実施する予定です。

M 強固なビットコイン 基盤

成長を加速するための条件:

ビットコイン保有量
2026年6月12日時点



40,177 BTC

バランスシートに計上されたBTC数量

#1

アジア

アジアにおけるBTC保有の旗手

#3

世界

米国企業以外で唯一のトップ 10

約87%

国内シェア

日本市場におけるBTC保有基盤の中心を担う

M 当社はSiiibo証券の完全子会社化を予定

PROJECT
NOVA

メタプラネット証券への商号変更のうえ、PROJECT NOVAにおける、
ビットコインを中核とするエコシステム構築を本格化



取得対象(予定)

全株式

完全子会社化

取得価額

21億円

普通株・優先株合算

登録業

第一種金融商品
取引業者

日本で金融商品の組成・販売を行う
ために必要な金商法の登録を有する

完全子会社化の日程

2026年8月

完全子会社化手続は
8月完了予定



メタプラネット証券が切り拓く、日本の資本市場
の新たな章
ビットコインが生み出す利回りとリターン

M 眠っているのは、約1,190兆円

大半が超低利回りの現預金に滞留する日本の家計資産

デフレからインフレへの構造転換を受け、
利回りを求める資金移動が始まっている

TOTAL ADDRESSABLE MARKET (TAM)



約1,190兆円

現預金、国債、毎月決算型投信・国内MMF、社債等の合計



約1,140兆円

現預金

現金および銀行等への預金残高



約25兆円

毎月決算型投信、MMF

毎月決算型公募投信および国内MMF残高



約18兆円

個人向け国債等

家計保有の国債・財投債残高



約10兆円

個人向け社債

家計の社債保有残高(国債・財投債を除く)

「貯蓄から投資へ」： 低利回り資産 → 利回りを求める資産へ – 構造的な資金シフトが進行

M ビットコイン 金融エコシステムの構築を加速

PROJECT
NOVA

狙い

BTCを保有するだけでなく、BTC金融商品を組成・販売・運用する会社へ

1. 実績

これまでのM&A・会社設立



Siiibo証券取得(予定)
第一種金融商品取引業・証券機能



Asset Management設立
BTC関連商品の運用機能



Ventures設立
発行体・投資機会のソーシング

2. 統合

メタプラネットグループへの統合



組成、販売、管理、投資
を一体的に運営

3. 今後

事業拡大ロードマップ

規制業務

暗号資産交換・OTCデリバティブ・カストディ・レンディング・資産運用等

金融インフラ

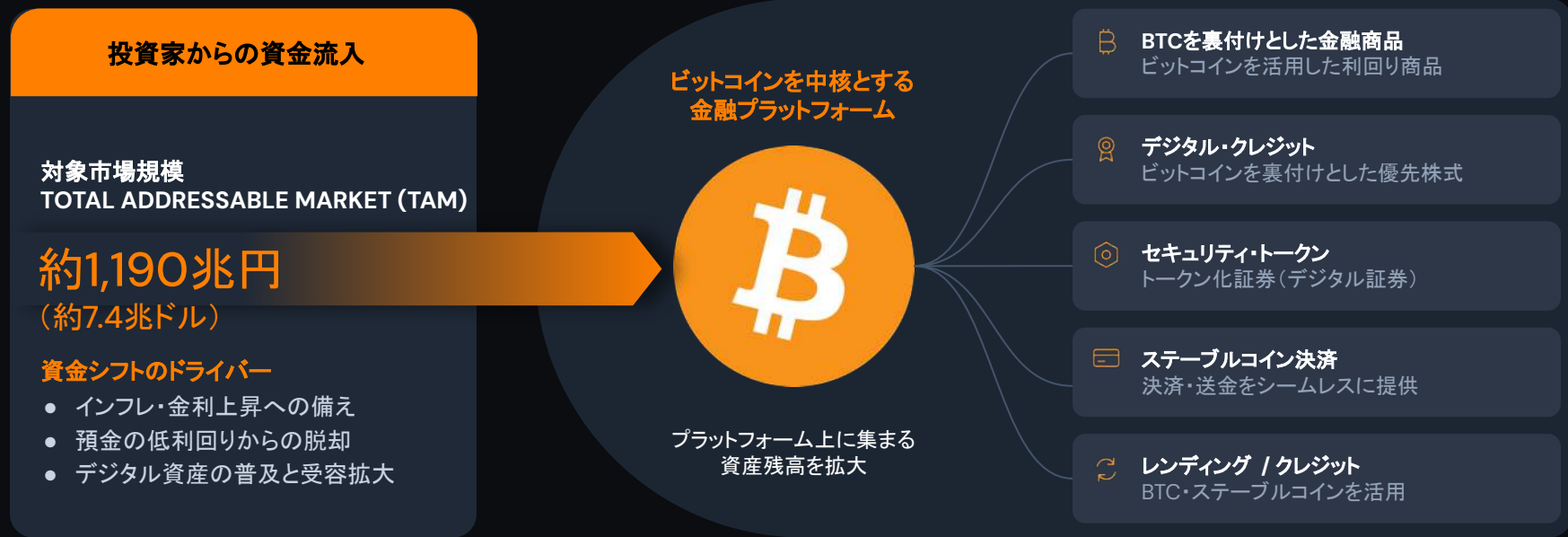
カストディ、決済、レンディング、トークン化および実物資産(RWA)

証券販売チャネル

株式、債券、およびBTC連動商品

M ビットコインから 日本の利回り市場 を創出

ビットコインが生み出す機関投資家水準の利回りを、
日本の資本市場へ



M ビットコイン保有基盤を 金融プラットフォーム へ拡張



ビットコイン
トレジャリー

主な取り組み

- ✓ ビットコインの戦略的取得
- ✓ BTC イールドの創出
- ✓ オプション活用によるインカム創出
- ✓ 財務基盤の強化

PROJECT
NOVA

主な取り組み

- ✓ BTC金融商品の提供
- ✓ デジタル証券の販売
- ✓ カストディ基盤の構築
- ✓ レンディングサービスの開発
- ✓ 決済基盤の拡大



目指す姿

**ビットコインを中核とする
金融プラットフォーム**

グローバルに通用する、
日本最大級の総合金融
プラットフォームへ

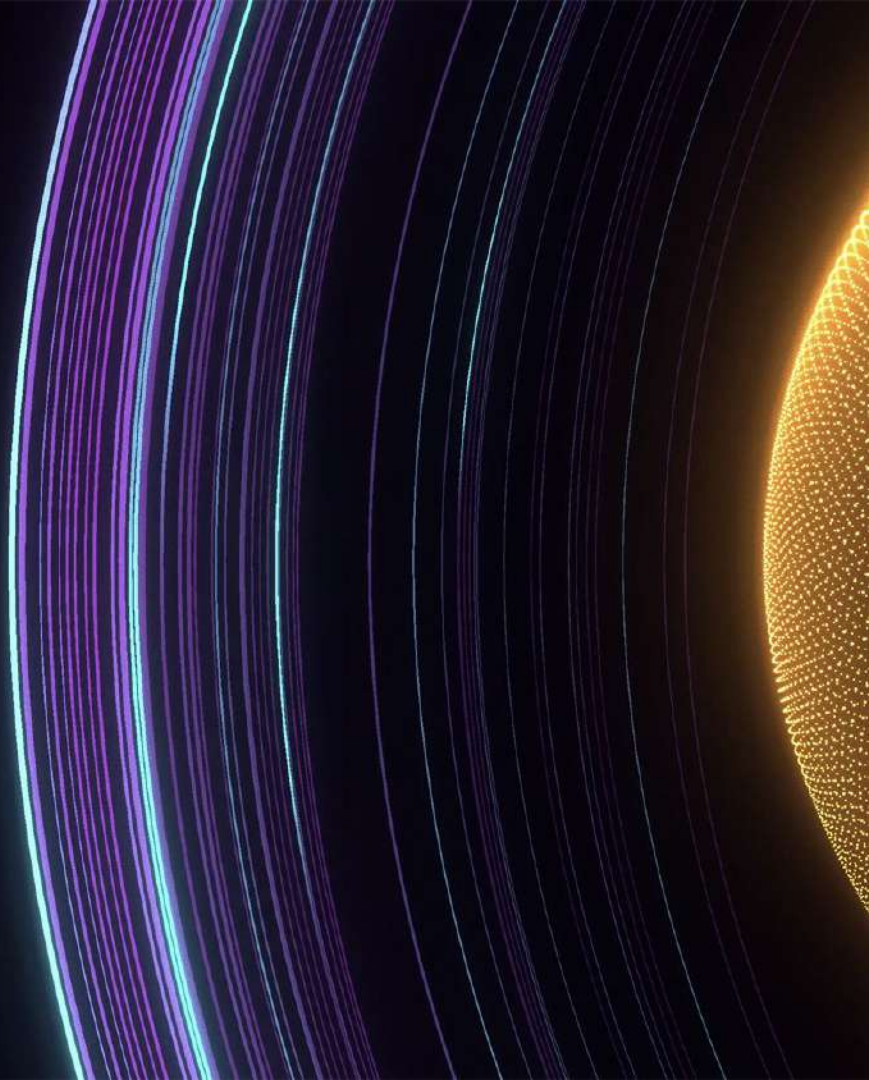
M PROJECT NOVAが1株当たりBTCの成長を牽引





METAPLANET

付録



対象会社： Siibo証券株式会社



Siibo証券株式会社

オンライン証券プラットフォームを運営する独立系第一種金融商品取引業者

設立:

2019

所在地:

東京都

事業内容:

オンライン私募社債等の取扱い

登録業:

第一種金融商品取引業者

主要株主:

経営陣・既存VC等

事業の特徴

国内独立系の第一種金融商品取引業者として、私募社債を中核に、従来は機関投資家・富裕層中心であった社債投資をオンラインで個人投資家へ直接提供

ベンチャーデット領域で40社・100銘柄以上の社債発行支援実績を有し、発行体ソーシングから口座管理までを内製化したフィンテック証券プラットフォームを構築

メタプラネットグループとの統合により、私募社債で培ったサービス/顧客を活用し、BTC関連等を中心とした取扱金融商品群を拡大

登録業

第一種金融商品
取引業者

中核プロダクト

私募社債

プラットフォーム

オンライン完結型

M 期待されるシナジー

1.

メタプラネット株主を含む日本の投資家向け証券サービス

メタプラネットの約25万人の株主を含む日本の投資家に対し、段階的に高品質な金融商品を提供していく

2.

資本市場を活用したメタプラネット証券の成長投資支援

当社の資本市場アクセス(増資・新株予約権・社債等)を活用し、資本注入又はグループ内融資等によりメタプラネット証券の成長投資を支援

3.

BTC関連商品・サービスの提供

当社グループが企画するBTC連動型金融商品等を、メタプラネット証券が第一種金融商品取引業者として取り扱い、既存顧客に提供することを想定

4.

メタプラネットベンチャーズとの発行体ソーシング連携

メタプラネットベンチャーズと連携し、暗号資産・DeFi関連企業等を中心とする社債・デジタル証券の発行体ソーシングを推進

5.

デジタル化金融商品の組成・販売加速

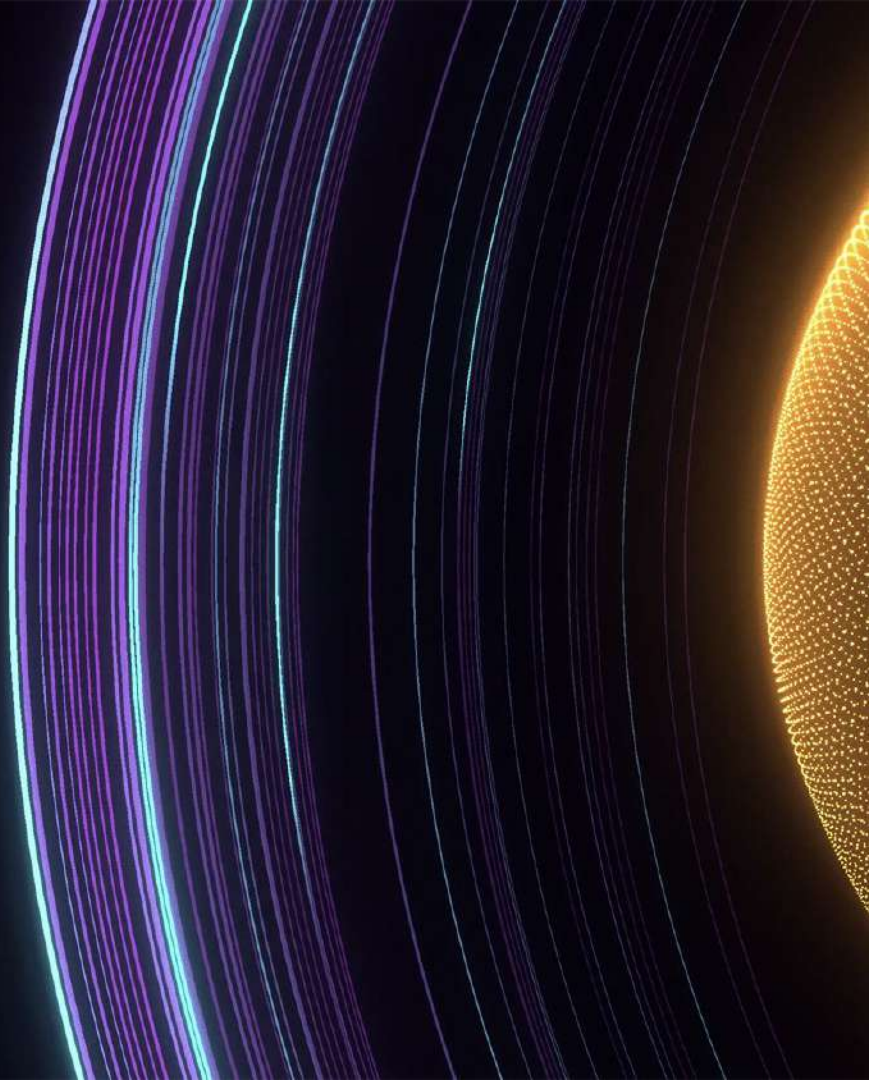
ST等のデジタル化金融商品について、当社グループが組成を主導し、メタプラネット証券が第一種金融商品取引業者として販売を担う体制を構築



METAPLANET

PROJECT NOVA戰略

PROJECT
NOVA 



ビットコインを中核とする利回り商品を日本へ

商品カテゴリー 01

デジタル・クレジット

BTCを裏付けとする永久優先株(計画中)

当社バランスシートを
信用基盤とした発行を計画

- 40,177 BTCの財務資産と拡大する営業利益基盤が優先株を支える構造
- 国内投資家が検討しやすい、安定的・予測可能な円建て利回りを設計
- 日本の機関投資家の債券マンドートおよび利回り志向の家計を主な対象に設定

商品カテゴリー 02

資産運用

規律ある組成・提供による BTC関連利回り商品

Metaplanet Asset Management (MAM) — 米国で設立済み 日本展開は段階的に実施予定

- ビットコイン市場の特性を活用し、安定的なリターン創出を目指す
- 個人・機関投資家向けに、低ボラティリティのパッケージ型エクスポージャーを提供
- 当社バランスシートから独立した、受託者責任に基づく商品ライン

販売プラットフォーム

メタプラネット証券

BTCを裏付けとする利回り商品を日本市場に提供する

登録制金融インフラの拡充

検討中の登録制事業領域:

- 暗号資産交換業
- カストディ業務
- レンディング業務
- 資産運用業(MAMと連携)

日本市場にもたらず資本・知見・ネットワーク

BTC財務基盤の構築にとどまらず、グローバル資本市場で培った経験・知見を日本の金融・資本市場の発展に活かす

資本

長期グローバル資本へのアクセス

- 世界有数の機関投資家との直接的な関係
- ソブリンウェルスファンド、年金、グローバル運用会社からの資本調達力
- 海外投資家の資金を国内市場へつなぐパイプラインを構築
- 調達資本を、BTC財務、利回り商品発行、エコシステム投資を支える基盤として活用

専門知見

金融・上場企業の経験豊富なメンバー

- グローバル投資銀行・国内大手金融機関出身者を中心とした経営陣
- エクイティ、デリバティブ、ストラクチャード商品、バランスシート運営、資産運用を一体的に活用する専門性
- ビットコイン財務と伝統的資本市場の双方に精通する、世界でも数少ないチーム
- 監査委員会・取締役会には、デロイト・マツ出身の監査専門家が参画

国際ネットワーク

デジタル資産エコシステムへのアクセス

- 世界のBTC財務戦略ネットワーク（米国Strategy社等）との実務的關係
- 米国デジタル資産インフラへの直接的アクセス— カストディ、デリバティブ、プライムブローカー
- 政府系ファンドを含むグローバル長期資本との関係
- 米国の金融イノベーションと日本の規制・市場構造をつなぐ橋渡し役

日本の重要政策に沿った事業展開

5つの政策テーマ、5つの具体的な貢献、1つの上場企業プラットフォーム

政府の政策アジェンダ

当社の貢献

新NISA・資産運用立国

「デジタル・クレジット」優先株と、Metaplanet Asset Managementの日本展開を通じて、預金中心の家計資産に対し、質の高い、規制に則った円建て利回りの選択肢を提供し、「貯蓄から投資へ」の流れを後押し

金融・資産運用特区

東京を拠点としたIR活動を通じて海外機関投資家の資本を国内市場に呼び込み、2028年にはビットコイン・カンファレンス・ジャパンの主催を計画。アジア金融ハブとしての東京の発展に貢献

改正資金決済法・ ステーブルコイン制度

JPYCへの戦略的投資を通じて、規制された円建てステーブルコイン市場の形成と健全な発展を支援

暗号資産の規制・ 税制改革

日本最大のBTC保有企業として政策議論に建設的に参加し、本邦企業がバランスシート上でデジタル資産を保有しやすい環境整備を後押し

アジアのデジタル金融ハブ としての東京

上場企業によるビットコイン・トレジャリー、規律ある利回り商品、デジタル金融インフラ投資を一つのプラットフォームに統合し、シンガポール・香港に対する東京の競争力向上を後押し

法令遵守と透明性を重視した規律ある運営

金融業界の豊富な経験、独立社外取締役が過半を占めるガバナンス体制、
包括的リスク管理フレームワーク – 全事業活動を支える基盤

プロフェッショナリズム

シニア投資銀行出身者を中核

経営陣・取締役会の中核は、グローバル投資銀行・国内大手金融機関出身。ファイナンス、トレーディング、デリバティブ、リスク管理、資産運用に関する深い専門性を有する

外部監査 & 委員会

独立性の高い監督体制

外部監査法人による監査を実施。デロイト・トーマツ出身の複数の監査専門家が取締役会・監査委員会に参画し、各委員会は独立取締役が過半を占める

透明性

市場水準を超える情報開示への取り組み

バランスシートはほぼリアルタイムで更新。四半期決算発表資料を通じて開示し、日本語・英語の双方で株主との直接的なコミュニケーションを継続

リスク管理

包括的リスク管理フレームワーク

ビットコインのカストディ・セキュリティ、デリバティブ取引リスク、バランスシート・借入管理、カウンターパーティーリスクを統一されたフレームワークで管理。文書化されたポリシーと枠組みのもとで運用

カウンターパーティー規律

最上位カウンターパーティーのみと取引

取引相手となるカウンターパーティーは、世界のトップティア金融機関に限定。株主利益を守る契約条件を交渉



METAPLANET

Secure the Future with Bitcoin

X @Metaplanet

🌐 metaplanet.jp